

南関東ブロック会議（10月29日（木） 東京都・KKRホテル）

参加者は約200名。八尾勝（公社）東京都協会副会長の司会により、山中祥弘東京都協会会長が開会ならびに開催県を代表して歓迎の言葉を述べた。岡本比呂志全専各連南関東ブロック長の挨拶の後、小林光俊全専各連会長から挨拶が述べた。最後に来賓として、文部科学省生涯学習政策局岩本健吾総括官、東京都生活文化局私学部加藤仁部長の挨拶の後、来賓・行政関係者・全専各連・各協会会長等の紹介が行われ、本会議に入った。

はじめに「文部科学省報告」と題して白鳥綱重専修学校教育振興室長が講演を行った。平成28年度専修学校関連概算要求、平成27年度中核的専門人材等の戦略的推進事業の現況、公職選挙法の一部改正に伴う選挙・政治参加教育の充実、高大接続改革、職業実践専門課程の更なる充実に向けて、等の行政報告があった。

全専各連事務局からは、全専各連全体の活動状況、職業実践専門課程に関連した自己点検評価の実施と公表の促進について、専門学校生への経済的支援関連事項について、等の報告と全専各連ならびにTCE財団事業への協力要請が行われた。その後、各都県から行政報告が行われ、全大会を終了した。

休憩後、研修会（分科会形式）が開催された。

第1分科会（総合分科会）では、「中央教育審議会 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会の審議について」と題し、岡本比呂志学校法人中央情報学園理事長／中央教育審議会特別部会委員から、特別部会の審議について、これまでの経緯、新機関の根本理念・基本要件、また今後の対応を含む報告があった。続いて、その報告を受け、黒田壽二金沢工業大学学園長・総長／特別部会副会長より、新たな高等教育機関の制度化と質保証について、金沢工業大学の教育に対する取り組みの紹介も交え、講演が行われた。

第2分科会（高等課程分科会）では「平成26年度高等専修学校の就学支援金・学校評価等に関するアンケート調査の報告」をテーマに清水信一全国高等専修学校協会会長が説明を行い、「高等専修学校の実態に関するアンケート調査」の回答への協力を求めた後、意見交換が行われた。

星川正樹文部科学省専修学校教育振興室専門官より、情報公開の全体での取組みが専修学校の地位向上となる。

また、アンケート等により実態やニーズをデータとして示すことが予算措置につながると協力を求めた。最後に、清水裕神奈川県会長からの次期開催県あいさつに続き、千葉茂東京都副会長が閉会の言葉を述べて会議を閉会した。

その後、交流会となり、すべての日程を終了した。